ハ此ノ淺キ齒齦裂隙ヲ維持シ且ツ此レ等ヲ清淨ニ保ツコトニアル。著者ハ前述ノ如キ新學說ガヨーロッパニ於テ一般ニ承認セラレタルニモ拘ハラズアメリカ、英國ニ於テハ猶ホ從來ノ學說ガ一般ニ信ゼラレテラツテ比較的最近ニ出版セラレタルベデッカー、マムナリー、エンデルマンノ如キ著書ニ於テモ舊學說ヲ支持シテラルト論ジ從テ齒根膜疾患等ノ治療ニ從事スル臨牀家ハ時トシテ治療上大ナル齦齦ヲ來スコトガアルト述ベテラル。特ニ齒頸部ニ於ケル齦蝕ノ充填ニ際シ齒齦緣下ニ至ル豫防擴大ノ意義乃至ハ金冠調製時ニ於ケル瑤瑯質ノ除去及ビ帶冠ノ齒齦緣下壓入等臨牀上新學說ニ對照シテ大イニ考慮ス可キコトガ多イト論ジテラル。

最後ニ著者ハ齒槽膿漏ト此レ等ノ上皮組織ノ結合トノ關係ヲ論ジテラルガ要スルニ本論文ニ於テ著者ハゴットリープ氏ノ新學說ヲ紹介スルト同時ニ其ノ臨牀上治療學乃至ハ技工學上ニ及ス影響ヲ論述シテラルニ過ギヌ。

齒科外科

口腔領域ニ於ケル試驗穿刺

Die Punktion im Bereich der Mundhöhle von Dr.
med. Max Sebba, Zahnarzt (Facharzt für Mund- und
Kieferkrankheiten, Danzig-Langfuhr Vierteljahrsschrift
für Zahnheilkunde Heft 1, 1929)

「レントゲン」寫真ガ診斷用トシテ應用セラレル様ニ成ツテカラ餘リニ其レ許リニ賴ル結果、口腔内デ試驗穿刺ヲシテ見ルコトガ、稍ヤ忘レ氣味ノ形ニ成ツテ來タ、從ツテ諸大家始メ著者モ、數例ノ誤診ヲシタノデアルガ其ノ實例ヲ掲ゲテ、著者ハ、的確ノ診斷ヲ下スタメニハ、「レントゲン」寫真ト共ニ試驗穿刺ヲ行フ事ノ重大ナルコトヲ力說シテ居ル。

就中、上顎竇附近ノ「レントゲン」寫真ノ誤リ易イノハ、此竇ガ齒槽部ニ向ツテ深ク入り込ンデ居ル時ニ、同時ニ其ノ部ノ臼齒ガ缺如セル爲メニ齒槽萎縮ガアル場合デアル、斯カル場合ハ老人ニ限ツテハ居ラナイ、若イモノデモ、永イ間臼齒ガ缺ケテ居ルトキニ見ルコトデアツテ、此ノ様ナ時ニハ、往々上顎骨ノ囊腫ト誤診セラレルモノデアルカラ、是非試驗穿刺ヲシテ見ルコトが必要デアル。

試驗穿刺ノ方法ハ至ツテ簡單デアル。

約一握位ノ長サノ弓狀切開ヲ、臼齒根端ノ上部ニ行ヒ、粘膜ヲ骨膜ト共ニ剝離セシ後、小サナ「バア」ニテ骨ヲ穿孔シテ上顎竇ニ達セシメル、其ノ際、鼻ヲ撮ンデ息ヲ吹カシムルトキハ、此ノ小孔ヨリ、空氣ガ出ルコトヲ知ル、即チ上顎竇ガ開イタ證據デアル。

若シ上顎竇蓄膿症ノ疑アルトキハ、穿刺孔ヨリ洗滌スレバ、洗滌液ノ透、不透明ニヨツテ、診斷ガ確實ニ成ル。

又若シ囊腫ガアルトキハ、此ノ穿刺孔ヨリ吸引スレバ「コレステリン」結晶ヲ有セル囊腫ニ特有ナル液體ヲ認メル。

尙ホ著者ハ上顎竇蓄膿症洗滌ノ場合ニモ此ノ穿刺方法ヲ行フ場所即チ65ノ歯端上方部ノ開孔ヲ利用スル方ガ、患者ニ取ツテモ苦痛ガナク、經過モ良イト信ジテ居ル。

上顎竇内ニ成長シタル上顎骨ノ囊腫ノ場合ニハ、試験穿刺ヲシテ囊腫ノ内容ヲ吸引排除シタ後デ、「ヨージビン」ヲ注入シ、更メテ當該部ノ「レントゲン」寫真ヲ撮影スレバ、囊腫ノ上顎竇ニ於ケル位置ハ勿論、鼻、眼窩、齒槽骨ニ對スル關係ガ明瞭ニ分カル。

但シ此ノ「ヨージビン」ヲ濾胞性齒牙囊腫ノ疑アルトキニ注入スルト、若シ埋伏齒牙ガ存在シテ居テモ、「ヨージビン」ノ爲メニ隠レテ現ハレヌモノデアルカラ、「ヨージビン」注入前ニモ「レントゲン」寫真ヲ撮ツテ、埋伏齒ノ存否及位置の關係ヲ調べテ置く必要ガアル。

尙ホ、上顎竇ト囊腫トノ誤診以外ニ、骨髓性肉腫、珙瑯上皮腫、齒牙腫等ノ腫瘍ガ囊腫ト誤診セラレ、上顎囊腫ノ感染セシモノガ口蓋側ニ發育セシ口蓋膿瘍ト誤診セラレシ例モ有リ、斯ノ如キ誤診ハ、著者ノミナラズ諸大家ノ經驗シタ所デ、之レ等ノ類症鑑別上ニモ試験穿刺ハ甚ダ有效デアル。

又、齒根端ニ肉芽腫ガ有ツテ、齒根端切除術ヲ必要トスル場合ニ

モ、前以テ試験穿刺ヲ試ミ、大體ノ見當ヲ附ケル。

特ニ、口蓋ニ擴ガツテ居ル顎骨囊腫ノ穿刺ノ時モ脣側ヨリ之ヲ行ツタ方ガヨイ、蓋シ囊腫ノ矢狀の擴張程度ガ分リ、ソレニヨツテ手術方法ガ定メラレルカラデアル。

試験穿刺ニ基ク感染ノ危険ニ就テハ、穿刺前ニ沃丁ヲ塗布シテ行ヘバ、少シモ心配ガ無イガ、蝦蟇腫ト、皮様囊腫ノ場合ニハ時トシテ、口腔底蜂窠織炎ヲ起ス危險ガ伴フコトガアルカラ注意ヲ要スト述ベテ居ル。

保存療法科

銀ノ治癒力利用ニ就テ

Über die Verwertung der Heilkraft des Silbers. Von
Dr. H. Treibisch (Wien), Z. R. Nr. 24, 1929.

多クノ金屬ニ、微生物ノ發育ヲ制止スル作用ノアル事ハ、既ニ植物學者チーゲリー Nageli ニ發見サレ、金屬銀ガ治療ノ目的ニ使用サル、ノモ、此性質ニ基クノデアル。氏ハ淡水藻水綿 *Spirogyra* ノ發育ヲ觀察シテ、容器壁ノ銅片ニ接觸シテ居ツタ部分デハ、其發育ガ停止スル事ヲ發見シ、其際水中ニハ化學的ニ銅ヲ證明スル事が出來ナカツタノデ、此現象ノ原因ハ、不可量物ガ其動原ヲナスモノト假定シテ、其性質ヲ極微力 *oligodynamische Kraft* ヲ